

シンハラ語検定 概要

1. 対象者：シンハラ語を学習している日本人
2. 実施日：10月と3月（年に2回）
3. 試験区分：7区分（1級、準1級、2級、準2級、3級、4級、5級）
※飛び級および併願受験は不可
4. 検定料：1級（16000円）、準1級（14000円）、2級（11000円）、
準2級（10000円）、3級（8000円）、4級（7000円）、5級（6000円）
※Serendip生徒は特別料金にて受験可能。別途案内。
また銀行振込、手数料は受験者負担、別途消費税
5. 申込み・通知・試験方法：全てオンライン
※選択式問題は Google フォームを使用。
リスニング問題は YouTube 限定公開で実施し、回答は Google フォームを使用。

<受験の流れ>

- ①Serendip ホームページの専用フォームにて申込み。
- ②定員に達し次第、または申込み締切日後に個別に確定メール及び検定料納入案内
- ③試験当日に受験
- ④1～準2級は2週間以内に1次試験結果案内、その後2次試験
3～5級は2週間を目安に最終結果通知
- ⑤合格者には合格証書を電子発行

6. 基本受験方法

- 1級、準1級、2級、準2級→記号選択問題、リスニング、個人面接
3級、4級、5級→記号選択問題、リスニング

7. 試験区分毎内容

<1級>シンハラ語マスターへ

・程度：「聞く」「話す」「読む」「書く」という能力を高度にバランスよく身につけ、仕事で使用する場合に即戦力となる。

・試験内容

- ①読む：スリランカにおける政治・経済・社会・文化の幅広い領域にわたる、専門的かつ高度な内容の文章を、限られた時間の中で正確に読み取ることができる。
- ②聞く：テレビドラマなどの内容を正確に把握できる。広く社会生活に必要なシンハラ語を聞き取る高度な能力が要求される。
- ③文法：文の書き換え、動詞の選択・活用などについて、きわめて高度な文法知識が要求される。
- ④話す：現代社会のさまざまな問題について、自分の意見を論理的に述べ、相手と高度な議論が展開できる。

・試験形式

筆記、聞き取り、面接(与えられたテーマのなかから受験者が選んだものについての発表と討論)

※評価基準：コミュニケーション能力(自分の意見を要領よく表現する能力)とシンハラ語力(発音・文法・語・句)を判定する。

<準1級>ビジネスレベルの実力

・程度：日常生活や社会生活を営む上で必要なシンハラ語を理解し、一般的な内容はもとより、多様な分野についてのシンハラ語を聞き、話し、読み、書くことができる。

・試験内容

- ①読む：一般的な内容の文章を十分に理解できるだけでなく、多様な分野の文章についてもその大意を理解できる。
- ②聞く：一般的な事柄を十分に聞き取るだけでなく、多様な分野にかかわる内容の文章の大意を理解できる。
- ③文法：文の書き換え、動詞の選択・活用などについて、かなり高度な文法知識が要求される。
- ④話す：身近な問題や一般的な問題について、自分の意見を正確に述べ、相手と議論ができる。

・試験形式

筆記、聞き取り、面接(与えられたテーマのなかから受験者が選んだものについての発表と討論)

※評価基準：コミュニケーション能力(自分の意見を要領よく表現する能力)とシンハラ語力(発音・文法・語・句)を判定する。

<2級>シンハラ語が「使える」

・程度：日常生活や社会生活を営む上で必要なシンハラ語を理解し、一般的なシンハラ語を聞き、話し、読み、書くことができる。

・試験内容

- ①読む：一般的な事柄についての文章を読み、その内容を理解できる。
- ②聞く：一般的な事柄に関する文章を聞いて、その内容を理解できる。

③文法：動詞の選択・活用などについて、やや高度な文法知識が要求される。

④話す：日常生活のさまざまな話題について、基本的な会話ができる。

・試験形式

筆記、聞き取り、面接(日常生活に関する質問に対して自分の伝えたいことを述べ、相手と対話を行う)

※評価基準：コミュニケーション能力(自己紹介、日常生活レベルの伝達能力)とシンハラ語力(発音・文法・語・句)を判定する。

<準2級>一歩進んだシンハラ語

・程度：日常生活における簡単なシンハラ語を、聞き、話し、読み、書くことができる。

・試験内容

①読む：一般的な内容で、ある程度の長さの簡単なシンハラ語の文章を理解できる。

②聞く：日常的な会話を理解できる。

③文法：基本的文法事項全般についての十分な知識。

④話す：簡単な応答ができる。

・試験形式

筆記、聞き取り、面接(提示された文章を音読し、その文章とイラストについての簡単なシンハラ語の質問にシンハラ語で答える。シンハラ語での簡単な質疑応答。)

※評価基準：日常生活レベルの簡単なコミュニケーション能力とシンハラ語力(発音・文法・語・句)を判定する。

<3級>基本の総まとめ

・程度：シンハラ語の文構成についての基本的な学習を一通り終了し、簡単な日常表現を理解し、読み、聞き、話し、書くことができる。

・試験内容

①読む：日常的に使われる表現を理解し、簡単な文による長文の内容を理解できる。

②聞く：簡単な会話を聞いて内容を理解できる。

③文法：基本的文法知識全般。

・試験形式

筆記、聞き取り

<4級>日常のシンハラ語

・程度：基礎的な日常的シンハラ語を理解し、読み、聞くことができる。

・主な場面想定：家庭、学校、地域、電話、アナウンスなど

主な話題：家族、友達、学校、趣味、買い物、食事、天気、道案内、自己紹介、近況報告、予定など

・試験内容

①読む：基礎的な単文の構成と文意の理解。基礎的な対話の理解。

②聞く：基礎的な文の聞き分け、日常使われる基礎的応答表現の理解、数の聞き取り。

③文法：基礎的な日常表現の単文を構成するのに必要な文法的知識。

・試験形式

筆記：問題数 35 問、試験時間 35 分。満点スコア 500。

聞き取り：問題数 30 問、試験時間 30 分。満点スコア 500。

合格基準スコアは 622(ただし、各技能のバランスでの合否判定基準あり)

<5 級>シンハラ語への入り口

・程度：初歩的なシンハラ語の理解。それを使って表現できる。

・主な場面想定：家庭、学校、地域、電話など

主な話題：家族、友達、学校、趣味、旅行、買い物、音楽、食事、天気、道案内、自己紹介など

・試験内容

①読む：初歩的な単文の構成と文意の理解、短い初歩的な対話の理解。

②聞く：初歩的な文の聞き分け、挨拶等日常的な応答表現の理解、数の聞き取り。

③文法：初歩的な日常表現の単文を構成するのに必要な文法的知識。

・試験形式

筆記：問題数 25 題。試験時間 25 分。満点スコア 425。

聞き取り：問題数 25 題、試験時間 20 分。満点スコア 425。

合格基準スコアは 419(ただし、各技能のバランスでの合否判定基準あり)